

# 花無心

第 278 号ダイジェスト版 2024 年 5 月発行

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

## ♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。  
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、  
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

05 月 18 日(第 3 土曜日) 第 279 回例会 13:30 ~  
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 502 号研修室  
06 月 15 日(第 3 土曜日) 第 280 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室  
07 月 20 日(第 3 土曜日) 第 281 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室  
08 月 17 日(第 3 土曜日) 第 282 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室  
\*\*\*\*\*

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## ♪ 4 月例会報告 ♪

日 時: 4 月 20 (土) 13:30~15:45 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 17 名(男性 6 名 {内体験者 2 名}、女性 11 名 {内体験者 1 名}) のご参加がありました。

例会の始めに、H さんのハーモニカ演奏にあわせ、『めだかの学校』・『おさななじみ』・『こきりこ節』を歌いました。

## I 総会報告

### 1 令和 5 年度結果

#### 事業報告

月例会の開催、会誌「花無心」の発行、ミニ講演 3 回、公的機関などへの支援活動、ホームページの更新、個別相談対応、8050 の話し合いを行いました。

#### 決算報告

収入 年会費…会員 2 千円×43 名、当日会員 200 円×19 名

県から補助金、共同募金会から助成金をいただきました。

支出 事業の実施により支出いたしました。金額の記載は省略します。

### 2 令和 6 年度計画

#### 事業計画

今年度は次を計画します。

- (1) 例会の開催と、会誌「花無心」の発行 毎月行います。
- (2) 例会時に、県内外講師による研修会（ミニ講演）を、3回行います。
- (3) 公的機関の研修会・支援活動や、関係団体との交流会に参加し、結果を伝達いたします。
- (4) 全国規模のいくつかの交流会に参加し、各所の活動情報を学び、会の運営に生かします。
- (5) 会の役員に相談担当を置き、個別相談に応じます。
- (6) 8050「ひきこもりの子のライフプラン…」について、参加意向の方で継続検討します。

#### 予算計画

- 収入計画 年会費 2千円×45名、当日会費 200円×40名とします。  
共同募金会からの助成金は継続していただけます。県の補助金は応募中です。
- 支出計画 事業の実施により支出いたします。金額の記載は省略します。

### 3 会の役員。

代表（1人）、副代表（2人）、運営委員（7人）



### 4 意見交換

#### ・会場費について

6年度は5年度より安くなっていますが何故ですか？

- ⇒ 5年度はサンシップを主に利用し、サンシップが震災後はゴルフアートとやまを利用しました。  
6年度は、教育文化会館を利用いたします。その利用料金の差で、安くなりました。

#### ・サンシップの利用再開見込みは？

- ⇒ 現在は3階以下は、利用可能です。しかしエレベーターは使用出来ません。3階にある集会室は利用可能ですが、階段を利用した参加は大変です。エレベーターの利用不可能の来年3月迄は教育文化会館を利用いたします。（ただし来年1月は県民会館5階研修室です。）

### 5 運営委員会から

2001年3月に大地の会として発足し、23年経過しました。この間、欠かす事なく例会を続けけることができました。これからも皆で力を合わせ、継続していきたいと思えます。

県内の各厚生センター、富山市保健所、社会福祉協議会他から今年度も家族会や相談会に参加・協力要請が来ています。本会では、運営委員の皆さまの協力も得て、要請に応じたいと思えます。

会では、例会当日の12時から13時まで、運営委員会を行い、例会の内容や進め方などを意見交換しています。委員でなくても参加いただけます。皆さまのご意見をお聞かせ下さい。

今日は、県の保健機関の担当の方にも参加していただいています。これからも、ひきこもり対策にいろいろお力をいただければと思えます。

また、県外の大学生院生の方から、「ひきこもりの子の親のストレス対処と、子への適切な評価など、意見を聞きたい」との協力依頼がありました。依頼の文書やアンケート内容を運営委員で読み、どのように協力できるか検討していきたいと思えます。

## II いつもの話し合い

### 全体会では、

- ・入会し十数年間、皆様方から暖かいアドバイスを頂くなど、大変お世話になって来ました。今は、皆様方への支援というより、会が円滑に運営出来るようお力になりたいと思っています。
- ・子と少しずつ話が出来るようになった。ある事を子がパソコンで調べてくれました。
- ・家族の健康第一で、仲良く暮らしています。地域行事に積極的に参加し、“地域が安全安心の町”にと見守っています。
- ・この会に参加し、自分自身の子に対する姿勢がゆっくりとですが、優しくなっているかと思っています。子は家の修理をする等、徐々に良くなって来ています。
- ・子は外仕事を手伝ってくれた。私（母）は、今までは気を遣い過ぎて子にはあまり言わなかったが、これらはもっと言った方が良かったかと思っています。
- ・子は以前辛い時期もありました。その頃は、子には何かさせようとしていました。今では、元気でいてくれたらそれで良いと思っています。子は人から声をかけられたらすごく嬉しそうです。
- ・娘と一緒に参加出来る。何か私（母）が忘れたら娘がやってくれる。娘は私の励みになっています。

- ・子がひきこもった頃、私（父）は理解出来ず悪い状況に子を追い詰めていました。子はひきこまざるをえない社会との関わりの中で、負い目から乗り越えられない何か大変さがあることが分かりました。
- ・社会組織との関わりの中で、越えていくことが難しい社会的問題が背景にあることが、忘れられています。子供社会のいじめが、大人の世界に入ってきているとも思います。
- ・北欧の認知症の方の施設では、食器が陶器です。日本では割れないように、プラスチックを使っています。日本でも、北欧での優しさが必要と思いました。
- ・（県保健機関の M さん）  
この会に参加出来有難うございます。組織内に“ひきこもり支援センター”があり、来所や電話相談・グループ相談会・分かち合いの場・研修会など行っています。ホームページでは、予定を案内しています。センターを気軽にご利用下さい。
- ・私（母）は子がいてくれたらそれで良いと思えてきました。最近家事を少しずつ手伝ってくれます。メガネの修理と一緒にいたり、草むしりを手伝ってくれたり、少しずつ良い方向に向かっていきます。
- ・私（母）が体調を悪くしたことから、それで子のつらさが分かるようになりました。今では子は元気になり、私に頼ってくれなくなり寂しくなりましたが、子の自立を応援していきます。

引き続き、2班に分けていつもの話し合いをしました。

#### A班（11名）

- ・自分自身が体を悪くしてつらい日々を過ごしている。この会があることで誰かと話ができ、外に出るきっかけとなりうれしい。
- ・子のできている事に目を向けると家庭ではいろんな事をしてあげていることがわかった。
- ・この会で、気づいたことがある。息子の方がたくさん私（母）に感謝してくれていたし、気遣ってくれていた。
- ・もっと当事者の話を聞いてみたいと思う。親が思っているより子が考えていたり、親の思いと違うこともあるんじゃないかと思う。
- ・今日も和やかな雰囲気笑顔も見られ、たくさんのが得られました。本当にありがとうございます。

#### B班（6名）

- ・以前、足の怪我で入院した時の話です。当初は、人と交わることが多く出来て良かったのですが、コロナ禍が広まり、交流がなくなり、小さな部屋に閉じこもり寂しかったです。それ以来、人と話すことが楽しみになりました。コロナ禍が収まり人と話せることが有難かった。
- ・ひきこもり、さまざまな要因でなられた。例えば意志に反した異動でひきこもりになった方、それを誰が汲み取ってあげているか。その方の生活基盤は誰が考えるべきか。
- ・ひきこもりの方へ手を差し伸べるのは、家族・行政どちらも必要なのでは。
- ・ひきこもりの子のことは友達に話せない。地域の方との交流も少ない。ひきこもりの家族は生きづらい思いをしていると思います。
- ・親戚や地域の眼が怖い。「まだ治らんがけ」などと言われたこともありました。
- ・私は「ひきこもりの子」が、家出をしなくて、自分の家を選択してくれたと思っています。
- ・（体験者）ここ大地の会の例会は、自分の居場所です。例会日に富山へ帰って来ています。

### III その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について  
会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

#### 富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

#### IV 高岡つくしの会より（2003年設立）

5月例会 5月12日（日）12:30より  
場所 高岡市博労公民館  
※総会は1時00分より

#### おとぎの森例会

5/8（水）、5/25（土）2:00より  
場所 おとぎの森 子どもの家  
※場所が子どもの家2階に変更



- ・高サポ : きままスペース 毎週木曜日 14:00～ 高岡地域若者サポートセンター
- ・高岡市役所福祉課祖横断受付・福祉連携推進室（ひきこもりに関する複合的相談）

#### V 書籍の紹介 社会的ひきこもり家族自助会 とやま大地の会 会報『花無心』百号記念小冊子

2009年6月30日発行

“我が子のおかげであなたに会えた ありがとう、この巡りあい。”

目次の次頁に、Iさんのこの言葉がありました。久しぶりに、小冊子に掲載されている会の皆さんの文章を読み、嬉しい気づきもあります。

\*最終頁に「転載および外部使用禁止 とやま大地の会会員専用」と記載がありますので、今回の「書籍の紹介」は、ダイジェスト版には書籍名のみの掲載とさせていただきます。